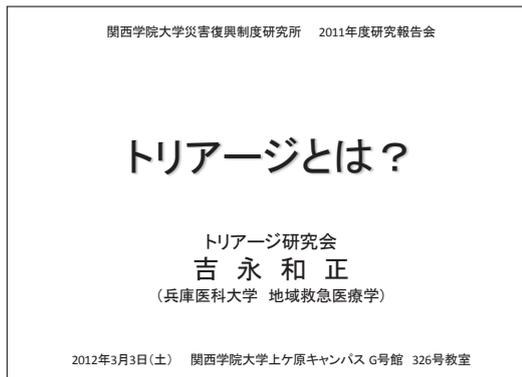


《研究会報告》

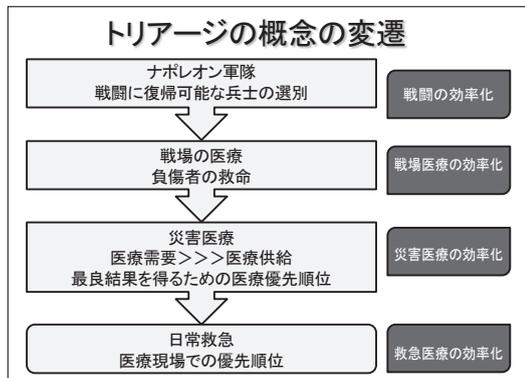
トリアージとは?

吉永 和正*

トリアージとはどのようなものかについて報告会資料を掲載する。救急医療は日常診療において緊急を要するものや時間外に必要となる医療であるが、災害医療は患者（需要）と医療資源（供給）のバランスが大きく崩れた状況で実施される医療であり、資源の効果的活用のためにトリアージが実施される。トリアージは災害現場、搬送時、病院到着時に何度も実施され、経時の変化を確実に把握するようになっている。トリアージタグは種々の形態のものが使用されていたが阪神・淡路大震災を契機に厚労省により規格が統一された。トリアージにはまだ種々の問題が残されているが、もっとも検討の遅れているものが実施主体と、その法的責任である。

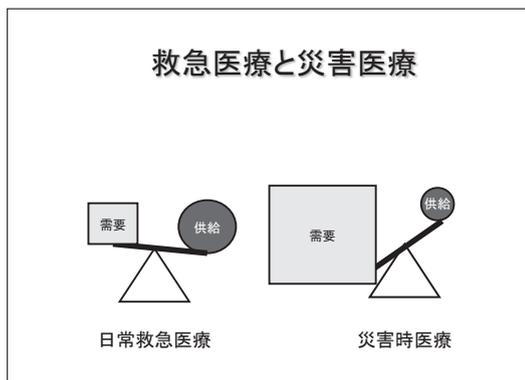


*兵庫医科大学 地域救急医療学



トリアージを導入した成果

- ・戦場でトリアージを導入することで被災者の生存率が向上した。
- ・米国における戦争負傷者の死亡率。
 - 第二次世界大戦 4.7%
 - 朝鮮戦争 2.0%
 - ベトナム戦争 1.0%



トリアージの概念

- ・目的
 - 限られた医療資源の中で最大の効果を得る

Best for the Most

- ・実際
 - 傷病者の緊急度より治療優先順位を決める
 - 治療不要の軽傷者、救命見込みのない傷病者には優先権を与えない

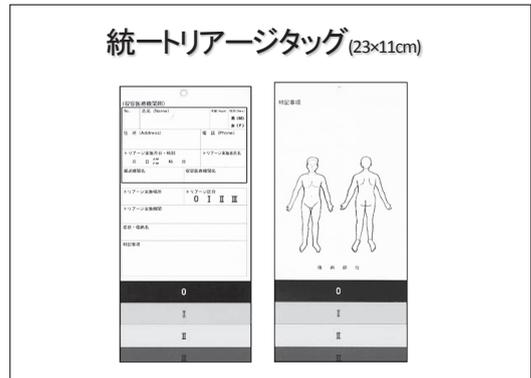
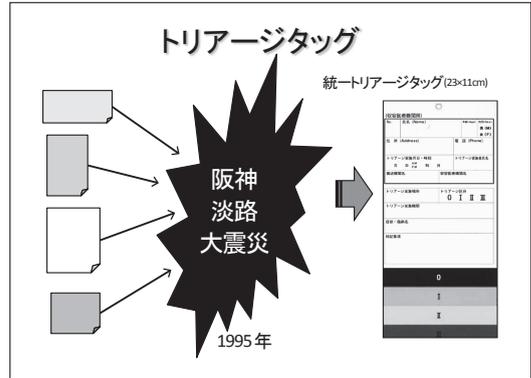
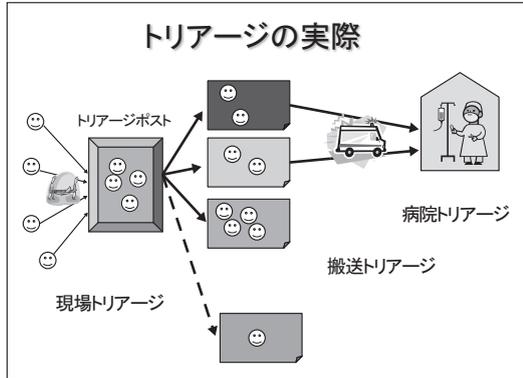
切り捨て医療ではない

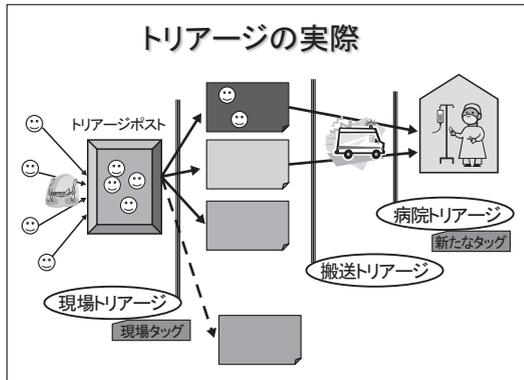
トリアージのカテゴリー

識別色	区分	状態の目安
赤	I	迅速な救命処置、緊急手術が必要
黄	II	入院が必要、6～12時間以内の手術
緑	III	軽微な処理、歩行可能
黒	0	救命困難、死亡

緊急度と重症度

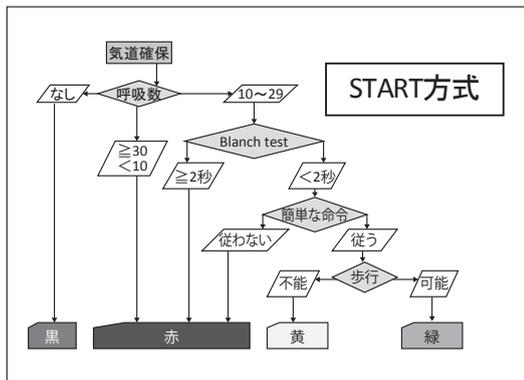
- ・緊急度
 - 時間的余裕を示す尺度
 - 緊張性気胸、気道異物→治療すればすぐに改善する
- ・重症度
 - 治療の困難性を示す尺度
 - 広範囲熱傷、頸髄損傷、腓損傷→時間的余裕はあるが治療に難渋する
- ・実際には《緊急+重症》が多い





現場でのトリアージ (一次トリアージ)

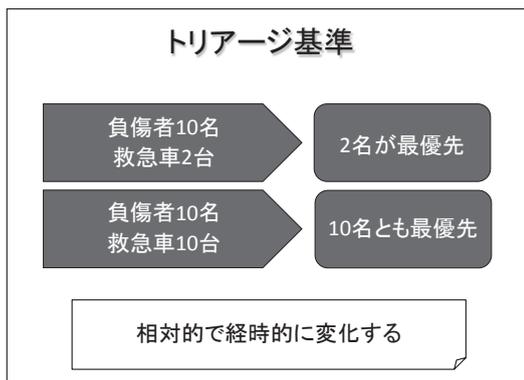
- ・まず緊急(赤、黄)と非緊急(青、黒)に分ける
- ・受傷機序に基づくトリアージ
- ・生理機能に基づくトリアージ
 - START(Simple Triage And Rapid Treatment)法
 - Revised Trauma Score



搬送トリアージ (二次トリアージ)

- ・搬送順位の決定
- ・搬送手段の決定
- ・搬送先の決定

- ・決定には情報が必要
 - 搬送手段はあるのか？
 - 搬送経路は確保されているか？
 - 受け入れ機関の状況は？



トリアージの問題点

- ・災害直後に全体を把握することの困難さ
 - 患者数は？
 - 交通は？
 - 医療機関は？
- ・状況の変化
 - さみだれ式来院→災害規模の変化

